

第2期 佐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 R2～R6(2020～2024)

令和2年度末(1/5年目)実績

基本目標及びKPI一覧(目標及び実績、達成評価)

該当項目	具体的な施策・事業内容	基本目標	事業KPI	目標年次	目標数値	令和2年度末(1/5年目)実績			令和2年度(1/5年目)結果分析	令和3年度以降の取組方針	担当課	目標数値算出方式	
						R1末 実績見込み 2018年度又は 2015～2019計 (出発点)	R2末 実績 2020 (1年目)					累計	最終 年度
基本目標	1. 地産外商を中心に魅力のある仕事をつくる		基幹作物の年間産出量	令和6年度	ニラ 845t イチゴ 162t トマト 73t ショウガ 1,096t	ニラ 769t イチゴ 147t トマト 66t ショウガ 996t	ニラ 718t イチゴ 175t トマト 82t ショウガ 875t	佐川支所のイチゴ部会の品種がゆめのかに実更されたこと で、収量が増加している。	産業振興課	〇		〇	
			間伐面積	令和2年度～令和6年度	200ha	123ha	7ha	間伐を進めるための作業道整備が主となっているため、間伐の面積が伸びていない。	作業道を開設した森林は、順次、適切な間伐を実施するように に施業者に対し指導をしていく	産業振興課	〇		
			観光客入込数	令和6年度	60,000人	45,000人	26,501人	1年を通じたコロナの影響により大幅な減少となった 上町15,954人、地質館10,547人、計26,501人	うえまち駅の開業とさかわ観光協会の移転リニューアルを活 かし、上町地区の魅力アップと全町的な集客増を図る	チーム佐川推進課	〇		
			新規就業者数(農林商工観光など)	令和2年度～令和6年度	40名	48名	6名	林業の協力隊の採用が順調にできている。就業相談も随時 実施しており、新規就業者の確保もできている。	引き続き、県内外での募集PRを実施する	産業振興課	〇		
基本的方向	自伐型林業を核とした仕事の創出												
	自伐型林業の推進		集約化された林地面積	令和2年度～令和6年度	500ha	426ha	189ha	水源地である尾川地区を中心に集約化を進めているが、R2 年度は任期満了者の居住地となる斗賀野地区で集約化。		産業振興課	〇		
			間伐面積【再掲】	令和2年度～令和6年度	200ha	123ha	7ha	間伐を進めるための作業道整備が主となっているため、間伐の 面積が伸びていない。	作業道を開設した森林は、順次、適切な間伐を実施するよう に施業者に対し指導をしていく	産業振興課	〇		
			新規林業就業者	令和2年度～令和6年度	15名	25名	5名	持続可能な林業の先進地として知られるようになり、ネット検 査のみで協力隊への応募者が増えた。	引き続き県外での募集PRを実施する。	産業振興課	〇		
	デジタル機器を活用したものづくりの強化		デジタル機器を活用した商品開発数	令和2年度～令和6年度	5件	3件	5件	町産材6次化企画業務成果品。モクモデルウッドスピーカー、 編みか、ヒノキのウッドスタンド他	町内各所の更なる施設利用促進を図る	チーム佐川推進課	〇		
	木材を活用した産業振興とエネルギー利用		森林資源フル活用センター木材取扱量 (R3開業予定)	令和6年度	※精査中	700t	—	—		産業振興課	〇		
基本的方向	持続可能な農業の振興												
	基盤整備の促進及びスマート農業の普及		圃場整備事業化面積	令和2年度～令和6年度	20ha	—	0	市ノ瀬周辺のほ場整備実施に向け準備中	R6～R8年度の工事予定	産業振興課	〇		
			スマート農業の推進(Next次世代型こうち新施設園芸システム)導入ハウス面積	令和2年度～令和6年度	2ha	—	0	—		産業振興課	〇		
			スマート農業の推進(イチゴ)民間植物工場の誘致及び整備	令和2年度～令和6年度	1箇所	—	0	—		産業振興課	〇		
	地産地消及び地産外商による基幹作物の販売促進		基幹作物の作付面積	令和2年度～令和6年度	ニラ 15ha イチゴ 5ha トマト 2ha ショウガ 18ha	ニラ 14ha イチゴ 4ha トマト 1ha ショウガ 17ha	ニラ 14ha イチゴ 4ha トマト 1ha ショウガ 22ha			産業振興課	〇		
基本的方向	道の駅を中心としたブランド戦略による生産・販売の強化												
	町産品販売・情報発信の強化		道の駅来客者数 (R4開業予定)	令和6年度	※検討中	—	—	R2は基本計画策定及び基本設計を実施	R3実施設計、R4工事予定	産業振興課	〇		
			道の駅総売上額 (R4開業予定)	令和6年度	※検討中	—	—	R2は基本計画策定及び基本設計を実施	R3実施設計、R4工事予定	産業振興課	〇		
	商品開発・磨き上げの強化		6次産業化された商品数	令和2年度～令和6年度	10件	7件	5件	観光協会への委託事業でブラッシュアップを含めて5商品で きた。	新たに設立した財団法人に委託し継続する。	産業振興課	〇		
			特産品開発及びブラッシュアップに関するワークショップ参加者数	令和2年度～令和6年度	250名	—	117名	上記委託業務により、各地区で商品掘り起こしのワー クショップを開催した。		産業振興課	〇		
	地域と一体となった観光振興		上町地区及び地質館への入込客数【再掲】	令和6年度	60,000人	45,000人	26,501人	1年を通じたコロナの影響により大幅な減少となった 上町15,954人、地質館10,547人、計26,501人	うえまち駅の開業とさかわ観光協会の移転リニューアルを活 かし、上町地区の魅力アップと全町的な集客増を図る	チーム佐川推進課	〇		
			わんさかわっしょい体験博等での新しい体験プログラム達成件数	令和2年度～令和6年度	25件	30件	15件	R2わんさかわっしょい体験博にて実施	R3は佐川町単独に加え、仁淀ブルー体験博も持ち、地域の お宝の掘り起こし、観光振興につなげる	チーム佐川推進課	〇		
	佐川町ブランディングによりプロモーション強化		情報発信、PRイベント開催数又は参加数	令和2年度～令和6年度	5件	3件	5件	県外移住相談会4件、移住体験ツアー1件		チーム佐川推進課	〇		
			牧野博士生誕160周年記念事業に関する事業参加者数	令和2年度～令和4年度	10,000人	—	—	R3～R4実施予定		チーム佐川推進課	〇		
基本的方向	後継者・起業者づくりの推進												
	農林業の後継者づくり／商工業の後継者づくり		新規就業者数	令和2年度～令和6年度	20名	23名	1名	就業相談のあった、町内在住者1名がショウガで就業した	抱い手確保に意欲的な佐川イチゴ部会を重点的に募集PR を実施する。年度末で研修を終えた1名がニラで就業予定。	産業振興課	〇		
			新規林業就業者数【再掲】	令和2年度～令和6年度	15名	25名	5名	持続可能な林業の先進地として知られるようになり、ネット検 査のみで協力隊への応募者が増えた。	引き続き県外での募集PRを実施する。	産業振興課	〇		
			事業承継者数(農林商工)	令和2年度～令和6年度	3名	0名	0	—		産業振興課	〇		
	人材育成の強化		商工業起業者数	令和2年度～令和6年度	5名	3名	1名	尾川地区に洋菓子店が開業	チャレンジショップを有効活用し起業につなげる	産業振興課	〇		
			起業研修開催数	令和2年度～各年	2回	2回	0	—		産業振興課	〇		
	商工観光分野の環境整備		上町地区及び地質館への入込客数【再掲】	令和6年度	60,000人	45,000人	26,501人	1年を通じたコロナの影響により大幅な減少となった 上町15,954人、地質館10,547人、計26,501人	うえまち駅の開業とさかわ観光協会の移転リニューアルを活 かし、上町地区の魅力アップと全町的な集客増を図る	チーム佐川推進課	〇		

第2期 佐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 R2～R6(2020～2024)

令和2年度末(1/5年目)実績

基本目標及びKPI一覧(目標及び実績、達成評価)

該当項目	具体的な施策・事業内容	基本目標	事業KPI	目標年次	目標数値	令和2年度末(1/5年目)実績			令和2年度(1/5年目)結果分析	令和3年度以降の取組方針	担当課	目標数値算出方式	
						R1末 実績見込み 2019年度又は 2015～2019計 (出発点)	R2末 実績 2020 (1年目)	累計				最終 年度	
基本目標	2. ふるさと愛を醸成するとともに、新しい人の流れをつくる		県外からの移住者数	令和2年度～令和6年度	112名	110名	27名				チーム佐川推進課	○	
			佐川で育った若い世代(15歳～24歳)の転出者数	令和2年度～令和6年(暦年)	年平均 100名	年平均 123名	120名					チーム佐川推進課	○
基本的方向	移住受入体制の充実と情報発信の強化												
	情報発信の強化		移住相談会の実施、参加数	令和2年度～各年	4回	9回	4回	コロナの影響によりオンライン開催 高知暮らしフェア3回、仁淀川流域移住相談会1回			チーム佐川推進課	○	
			移住相談件数	令和2年度～各年	200件	163件	101件	コロナの影響による減少			チーム佐川推進課	○	
	移住者の受入体制の充実		空き家バンクからの契約物件数	令和2年度～令和6年度	25件	19件 (H28～R1)	0	空き家バンク登録件数の減少による			チーム佐川推進課	○	
			移住者向け空き家改修補助件数	令和2年度～令和6年度	20件	7件 (H30～R1)	1件				チーム佐川推進課	○	
	移住者のしごとづくり・いきがいつくり		地域おこし協力隊雇用数	令和2年度～令和6年度	45名	48名	9名	さかわ発明ラボ、自伐型林業			チーム佐川推進課	○	
			移住者交流会の開催数	令和2年度～各年	5回	6回	1回				チーム佐川推進課	○	
			わんさかわっしょい体験博での移住者企画数	令和2年度～令和6年度	30件	15件 (H30～R1)	10件	一般のほか、さかわ発明ラボなど地域おこし協力隊の企画 が5件含まれ、今後も積極的な参加を促す			チーム佐川推進課	○	
基本的方向	定住者の増加促進												
	ふるさと教育の推進		ふるさと教育に資する授業の各クラス時間数	令和2年度～各年	30時間	27時間	46時間	さかわ未来学構想の構築最終年度として、R3からの本格実 施に向け増加している。	サカワーク等を活用して、本格的に実施		教委事務局	○	
			学校外の人材を活用した各クラス授業数	令和2年度～各年	10時間	8時間	6時間	計画では、実績より多く企画されていたが、コロナの影響に より、外部講師の活用が抑制された。	ふるさと教育の推進と関連性が高く、今後も積極的に活用予 定だが、コロナの状況には影響される。		教委事務局	○	
基本目標	3. 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる		婚姻届出数	令和2年度～令和6年度	170組	162組	30組				チーム佐川推進課 及び健康福祉課	○	
			出生者数(R6合計特殊出生率の目標:1.71に基づく)	令和6年度	75人	60人 (H30)	63人 (R1)					チーム佐川推進課 及び健康福祉課	○
基本的方向	ライフステージに応じた切れ目のない支援の推進												
	出会いの機会の創出と「子育てしやすいまち」の推進		婚活イベント又は出会いの場としての内容を含んだイベント数	令和2年度～各年	5回	1回	1回	新型コロナウイルスの影響により積極的なイベントの実施が 困難	コロナの感染状況を見ながら実施を判断		チーム佐川推進課 及び健康福祉課	○	
			婚活サポーターの登録者数	令和6年度	10名	2名	2名	広報等で制度周知	広報等で制度周知		チーム佐川推進課 及び健康福祉課	○	
			マッチングシステム登録者数	令和6年度	30名	7名	11名	初回登録料の助成制度を導入。周知を図り登録者数の増に つなげた。	助成制度を継続し、登録者の増を目指す。		健康福祉課	○	
			ファミリーサポートセンターの登録者数	令和6年度	130名	103名	112名	保育所を通じた制度周知と、個別の働き掛け	保育所を通じた制度周知と、個別の働き掛け		健康福祉課	○	
			ファミリーサポートセンターの活動件数	令和2年度～令和6年度	350件	326件	775件	ニーズに応じた依頼員と提供会員の丁寧なマッチング。	ニーズに応じた依頼員と提供会員の丁寧なマッチング。		健康福祉課	○	
			親子連れで遊べる施設の整備数	令和2年度～令和6年度	2箇所	—	—				健康福祉課 及び各事業担当課	○	
	女性活躍の場の拡大		ファミリーサポートセンターの登録者数【再掲】	令和6年度	130名	103名	112名	保育所を通じた制度周知と、個別の働き掛け	保育所を通じた制度周知と、個別の働き掛け		健康福祉課	○	
			ファミリーサポートセンターの活動件数【再掲】	令和2年度～令和6年度	350件	326件	775件	ニーズに応じた依頼員と提供会員の丁寧なマッチング。	ニーズに応じた依頼員と提供会員の丁寧なマッチング。		健康福祉課	○	
基本目標	4. 小さな拠点を中心として地域の暮らしを守る		集落活動センター事業の総参加者数	令和6年度	31,500人	26,202人 (H30)	22,501人 (R1)	コロナの影響で、冬のイベントが軒並み中止となり減少。こども 食堂、モーニング、居酒屋、バイクイベントなど			チーム佐川推進課	○	
			あったかふれあいセンターの集い利用者数(のべ人数)	令和6年度	39,000人	23,158人	22,782人	緊急事態宣言に伴う中止期間の影響	感染防止対策の徹底。利用者数は30,000人を目指す。		健康福祉課	○	
			あったかふれあいセンターの集い利用者数(実人数)	令和6年度	1,800人	1,033人	958人	緊急事態宣言に伴う中止期間の影響	感染防止対策の徹底。利用者数は1,200人を目指す。		健康福祉課	○	
基本的方向	小さな拠点の活用促進と各地域同士がつながるまちづくりの推進												
	小さな拠点の活用促進		集落活動センターを運営する組織の総会員数	令和6年度	420名	379名	376名				チーム佐川推進課	○	
	地域ファシリテーターの普及と活用促進		まちづくりサロンの開催数	令和2年度～各年	5回	2回	4回	各集落センターで住民座談会形式にて開催し、施設の活用 促進・地域づくりについて検討			チーム佐川推進課	○	
	地域移動手段の確保と維持		地域公共交通(ぐるぐるバス)の利用者数	令和6年度	10,000人	8,700人	8,411人	コロナによる外出控えの影響による			チーム佐川推進課	○	